

恵佑会札幌病院だより

2011
秋号
Vol.9

Keiyukai Sapporo Hospital

秋号

2011.11 No.9 発行・社会医療法人 恵佑会札幌病院

〒003-0027 札幌市白石区本通14丁目北1番1号

TEL011-863-2101 FAX011-864-1032 <http://www.keiyukaisapporo.or.jp/>

順天堂大学医学部附属順天堂医院がん治療センター長
鶴丸昌彦先生をお招きしました

部門紹介「手術室」

地域住民講座開催のご報告

高精度放射線治療装置
(エレクタ社製シナジー)

導入のお知らせ

ご存知ですか?

医療費控除



社会医療法人
恵佑会札幌病院

オント一湖(北海道足寄町)

順天堂大学医学部附属順天堂医院がん治療センター長 鶴丸昌彦先生をお招きしました

7月26日、27日に、順天堂大学附属順天堂医院より鶴丸昌彦先生をお招きし、手術と講演会を行いました。

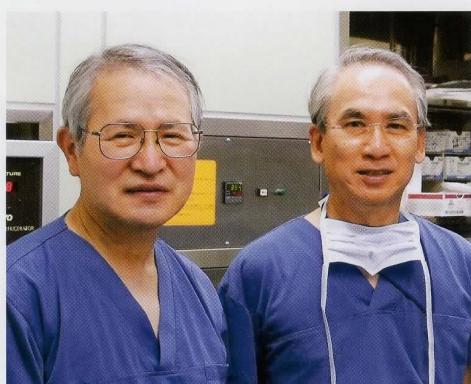
順天堂医院は、朝日新聞出版「手術数でわかるいい病院」によると、2010年の食道がん手術数が全国1位(当院は1例差で2位)であり、常にトップクラスの実績を誇っています。鶴丸先生は順天堂医院がん治療センター長を務め、食道がん手術も数多く執刀され、豊富な手術経験とその治療成績が高く評価されています。

26日には鶴丸先生の執刀で手術を行い、当院の手術部スタッフだけではなく、他院の先生方にも鶴丸先生の手術手技を学ぶため、見学にお越し頂きました。

また、翌27日には細川理事長による食道がん手術を見学して頂きました。



向かって右:鶴丸先生



左:細川理事長 右:鶴丸先生

講演会には他院からの参加を含め、医師、看護師、コメディカルなど136名が参加しました。鶴丸先生には『胸部食道癌根治術～3領域リンパ節郭清、胸骨後胃拳上再建～』と題し、実際の手術の様子を動画で解説して頂き、参加者にとって大変貴重な経験となりました。

細川理事長も7月の第66回日本消化器外科学会の教育企画「専門医に求められる手術手技一達人に学ぶー」にて発表した『民間病院での食道癌手術』を講演し、当院が目指す“理にかなった手術”的条件を挙げ、最後に

「鶴丸先生の手術を拝見して大変刺激になった。これからもより良い手術、がん医療が提供できるよう努力していきたい」と締めくくりました。

また、鶴丸先生は9月に行われた第65回手術手技研究会の特別講演で『手術手技の伝承』という講演をされました。その際、当院での術中写真とともに「良い手術を見ることが必要である」と当院を紹介して頂きました。



部門紹介「手術室」

手術室に「恐ろしい場所」というイメージを持っている方はいませんか?少しでも手術室について知って頂くことで不安や恐怖が解消されて、安心して手術を受けて頂きたいと思います。

手術室はまず設計時において清潔と安全に配慮して作られます。人と機材の動線を考慮して動きやすい設計。掃除しやすくドライに保たれた床。高さ2.7m以上の天井。埃がたまらない収納。手を触れずに開閉可能な出入口。2ヶ所以上ある医療ガスアウトレット。アース付き大容量コンセント。カバー付きの手術灯。室内を陽圧にして適温を保つ空調と換気、等々。



これらの条件をクリアした手術室で、スタッフは清潔な手術着に着替え、帽子・マスクを着用し、手を洗って手袋着用の上、作業をします。直接手術に携わる場合には、「清潔」よりも高度に手を「消毒」し、その上で「滅菌」した術衣と手袋を着用します。器具は全て滅菌したものを用います。

手術の方法も時代と共に変わります。昔ながらの手術器具に加え、最近では身体への侵襲を少なくするために医療用カメラを使った手術や特殊なメス等が多くなり、最新式の機械が増えてきました。更にどんな場面でも手術中の患者の安全を監視するため生体モニターで絶えず監視しています。そんな特殊機械を管理する臨床工学技士も配属されています。

麻酔科医や手術室看護師は、手術を受ける患者さんの術前訪問を行い、顔を見せ説明することで不安を軽減するように努めています。患者さんのが入室したら、ご本人に名前を確認して、更に手のひら静脈認証により最終確認をして患者取り間違いのないようにします。手術室入室前から退室するまで、術者はもちろん多くのスタッフが最高の結果を出せるように協力しているのです。



地域住民講座開催のご報告

恵佑会札幌病院では、患者さん、ご家族および地域の皆様を対象に、がん医療について、診断・治療を中心に、最新のトピックスを交えた公開講座を実施しております。今年9月には18回目を迎え、延べ1,400名を超える方々にご参加頂きました。

今年4月以降に開催した講座の内容を抜粋し、以下に掲載いたしました。今後も定期的に開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。



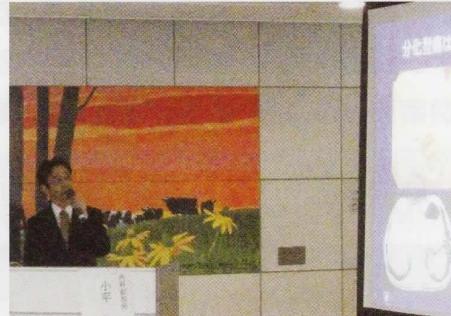
(最新の開催案内はホームページをご覧ください⇒<http://www.keiyukaisapporo.or.jp/>)

第14回 テーマ「早期胃がんの診断と治療の最前線」

2011年4月23日(土) 開催 講師:消化器内科副部長 小平純一

当院で年間200件近く行っている内視鏡治療を基に、胃がんの内視鏡診断・治療について詳しく解説しました。内視鏡治療が可能なケースを内視鏡写真や細胞の顕微鏡画像を使って説明し、実際の治療場面を動画でご紹介しました。また、予防の一つとしてピロリ菌の除菌についても解説し、質問を多く受けました。

「胃がんの内科的治療のイメージがわき参考になった」「病院の患者に対する優しい姿勢が感じ取れた」などの感想も頂きました。



第15回 テーマ「胃がんの手術～腹腔鏡から拡大手術まで～」

2011年5月21日(土) 開催 講師:副院長 外科 西田靖仙

胃がんの発生・転移のメカニズムについて解説し、手術、放射線、抗がん剤による治療法の比較を行いました。外科手術については、手術を選択する判断根拠や切除範囲を決める基準などを説明し、また、近年発達が著しい腹腔鏡手術についても紹介しました。講演の最後には実際の胃がん手術のビデオをご覧頂きました。血管を切る様子など、普段は見ることのない映像に皆さん真剣に見入っており、「手術を見学できたようで良かった」「映像が鮮明で大変興味深かった」などの感想を頂きました。



第16回 テーマ「早期大腸がんの内視鏡診断・治療について」

2011年6月25日(土)開催 講師:消化器内科 吉井新二

消化器内科医の立場から、早期大腸がんの内視鏡診断・治療について解説しました。検診の留意点や内視鏡検査の方法をはじめ、大腸ポリープの内視鏡切除方法などを図や動画でご覧頂きました。講演後には大腸がんの検査について多くの質問を頂き、「具体的で参考になった」「毎年内視鏡検査を受けようと思った」などの感想もありました。定期的な検診の重要性を知って頂くよい機会となりました。



第17回 テーマ「よくわかる大腸がん」

2011年7月16日(土)開催 講師:副院長 外科 久須美貴哉

消化器外科医の立場から、大腸がんについて、患者さんやご家族から多く受ける質問とその回答を中心に解説しました。各部位の名称、大腸の役割、大腸がんの発生、検査方法、治療法、転移の仕組みやストーマ(人工肛門)など、様々な質問項目について一つ一つ詳細に説明しました。ご参加頂いた方からは「手術を受けて不安だったが講演を聞いて安心できた」「普段は聞けないことが聞けて良かった」などの感想を頂きました。



第18回 テーマ「よくわかる肺がん その1 肺がんは増えています」

2011年9月17日(土)開催 講師:呼吸器外科部長 山崎成夫

増加傾向にある肺がんの現状及びその発生メカニズムについて説明しました。そして、肺がんの発見と診断に触れる中で、CTやPETなど個別の検査に関し、各々の目的や役割について詳しく解説しました。また、手術、放射線療法、化学療法という3つの治療方法と、がんの種類及び病期毎による治療方針についても解説しました。「これから治療を受けるので参考になった」「遠方から来た甲斐があった」などの感想を頂きました。



第19回 地域住民講座のご案内

参加料:無料

日時 2011年11月26日(土) 13:00~14:00

会場 恵佑会札幌病院1F 外科外来前ロビー

テーマ 「よくわかる肺がん その2 治療をめざして ~外科治療をわかりやすく説明します~」

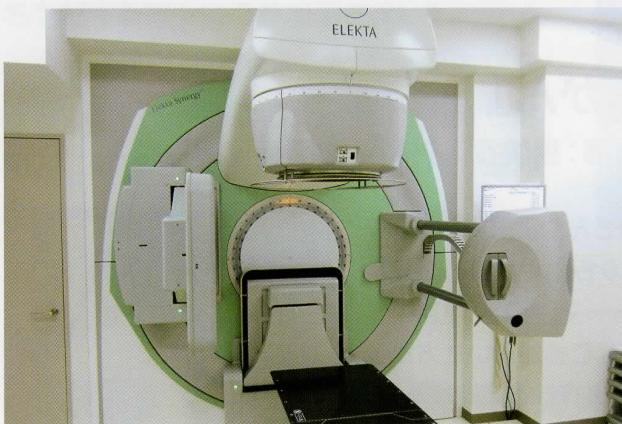
講師 呼吸器・乳腺外科 副院長 鈴木 康弘

申込 不要。直接ご来場し、講座受付にてご記名願います。

お問い合わせ 恵佑会札幌病院 地域医療連携室 ☎ 011-863-8800(直通)

高精度放射線治療装置(エレクタ社製シナジー) 導入のお知らせ

放射線治療は、外科手術、化学療法と並ぶがん治療の三本柱の一つで、臓器の機能や形態を温存したまま行なうため体への負担が少ないことが特徴です。近年の治療技術の進歩により、副作用はより少なく高い治療効果が上げられるため、放射線治療に対する需要は高まっています。



当院は、地域がん診療連携拠点病院として高精度な放射線治療を提供するため、放射線治療装置1台(エレクタ社製プレサイズ)に加え、2011年8月より最新のCT付き高精度放射線治療装置(エレクタ社製シナジー、以下“シナジー”)を稼働いたしました。シナジーは、IMRT(強度変調放射線治療)に加え、IGRT(画像誘導放射線治療)に対応する最新の放射線治療装置です。

放射線治療では、放射線を正確に腫瘍へ照射することが非常に重要です。しかし、放射線は目には見えませんし、肝心の標的は体の中にあり、外部からの目視では確認することができません。シナジーが対応しているIGRTという治療法では、放射線治療の前に患者さんの画像情報として治療装置に付属するCTを利用して骨やマーカー等の位置から照射が正しく行えるのかを確認し、画像情報から照射位置のずれ量をコンピューターから求めて寝台位置の高精度な修正が可能です。またシナジーは、VMAT(強度変調回転放射線治療)にも対応しています。今までのIMRTでは装置が止まって各方向から照射するので10～15分ほど時間がかかっていましたが、VMATでは装置が回転しながら照射するため、時間の短縮が期待できます。

当院放射線治療科では、放射線治療専門医2名(日本医学放射線学会専門医、日本放射線腫瘍学会認定医)、医学物理士1名、診療放射線技師5名(うち、放射線治療専門放射線技師・放射線治療品質管理士1名)、放射線科看護師、事務員の専属スタッフが最新の放射線治療に対応する為日々研鑽しております。これからも、放射線治療を必要とする患者さんに安全かつ安心して放射線治療を受けて頂けるよう、スタッフ一同努力し続けてまいります。

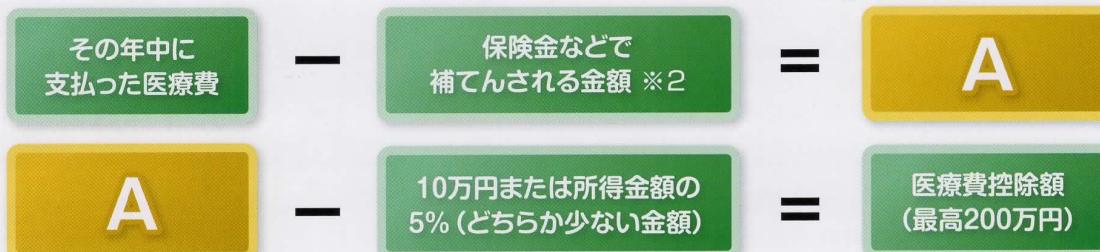


ご存知ですか？医療費控除

医療費控除についてご説明いたします。

医療費控除とは、患者さんやそのご家族が医療費を年間10万円以上払った場合(※1)、確定申告をすると一定の金額の所得控除を受けることができる制度です。

手続きはお住まいの地域の税務署で行います。



(※1)保険金などの補てんがあった場合は、それを除いた額が10万円を超えることが条件です

また、所得金額の5%を超えた場合でも適用されます

(※2)保険金などで補てんされる金額とは、①社会保険などから支給を受ける療養費、出産育児一時金など他、

②医療費の補てんを目的として支払いを受ける損害賠償金や生命保険契約などの医療保険金、入院費給付金の事です

(注)医療費控除により軽減される税額は、その方に適用される税率により異なります

◆医療費控除の対象となる医療費の要件

- ①納税者が、本人又は本人と生計を一にする配偶者やその他の親族のために支払った医療費であること
- ②その年の1月1日から12月31日までの間に支払った医療費であること

◆医療費控除の対象となる医療費

- ①医師・歯科医師による診療費や治療費 ②治療や療養に必要な医薬品の購入費
- ③病院・診療所(老人施設を含む)へ収容(例:入院、通院等)されるための人的役務の提供費用
- ④あんまマッサージ指圧師・はりきゅう師・柔道整復師による治療費
- ⑤保健師・看護師などによる療養上の世話費用 ⑥助産師による分娩費用
- ⑦介護保険制度の下で提供された一定の施設、居宅サービスの自己負担額等

◆控除を受ける為の手続き方法

医療費控除に関する事項を記載した確定申告書を所轄税務署長に対して提出してください。

医療費の支出を証明する書類、例えば領収書などについては、確定申告書に添付するか、確定申告書を提出する際に提示してください。

また、給与所得のある方は、このほかに給与所得の源泉徴収票(原本)も添付してください。

※国税庁ホームページより引用



お困りのことがありましたら、いつでも医療相談室までご相談ください。



社会医療法人 恵佑会札幌病院

理事長 細川 正夫
院長 平川 和志

■所在地 〒003-0027
札幌市白石区本通14丁目北1番1号

■電話・FAX番号 TEL 011-863-2101(代表)
FAX 011-864-1032

■診療科目 外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺外科、気管食道外科、
消化器内科、腫瘍内科、緩和ケア内科、耳鼻咽喉科、
頭頸部外科、アレルギー科(耳鼻)、泌尿器科、放射線診断科、
放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科

■病床数 一般272床(内24床緩和ケア病棟)

■併設施設 恵佑会臨床病理学研究所
恵佑会放射線画像センター

■面会時間 平日 午後3:00～午後7:30
土日・祝日 午前10:00～午後7:30

■交通機関 地下鉄／東西線「南郷13丁目」駅下車、徒歩約7分
(3番出口より国道12号線方面へ約500メートル)
JR北海道バス／JR北海道バスターミナル
札幌駅・新札幌駅・北広島方面より
1、1-1、13、15、22、24、26、33、34に
ご乗車ください。
中央バス／地下鉄東西線白石駅バスターミナルより
34にご乗車ください。
バスはすべて「白石神社前」で下車(快速以外は停車いたします)

2012年春 新病院開院!

内科・消化器内科中心の病院として
開院いたします。



■所 在 地 札幌市白石区本通13丁目北7番1号

